

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業支援課
 担当名：新規参入支援担当
 内線：4051

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P23	企業参入連携促進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業振興費	企業等農業参入支援事業		
事業期間	令和3年度～令和7年度	根拠法令	なし			針路	12	儲かる農林業の推進	SDGsゴール 2	
						分野施策	1201	農業の担い手育成と生産基盤の強化	SDGsターゲット 2-4	
<p>1 事業の概要 農業の担い手が減少する中、地域農業の担い手を確保することが急務である。 そこで企業を農業の新たな担い手として位置づけ、参入希望企業を確保し、企業からの相談に関係機関が連携して対応できる体制を整え、受入地域との調整を行うことにより、企業の農業参入を支援する。</p> <p>ウ 企業参入促進事業 △238千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 ア 連携促進事業 897千円 相談窓口の設置、農業イベント出展、農地情報データベース作成、関係市町村等との連絡調整を行う。 イ 農地集積推進事業 600千円 企業の農業参入における農地の利用調整を支援する。 ウ 企業参入促進事業 200千円 企業参入セミナーの開催等により、企業への情報提供を行う。</p> <p>(2) 事業計画 ア 相談窓口の設置 10か所 イ 農地の利用調整 3地区 ウ 企業参入セミナー開催 1回</p> <p>(3) 事業効果 企業の農業参入により、担い手の確保及び農地の有効活用が図られ、地域農業の活性化に資する。 令和4年(見込) 令和5年 ・新規参入企業数 30 30 地区</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 職員のマンパワーにより企業からの多様な相談(農地、技術、販路、資金、補助金等)に対応している。 また、企業の相談対応は、市町村、農業委員会、県農林公社等と常に連携して行っている。</p> <p>(5) 補正予算の概要 ウ 事務費節減による減額</p>						
<p>2 事業主体及び負担区分 アウ (県10/10) イ (県定額)事業者</p>										
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>										
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 人件費：9,500千円×2人=19,000千円</p>										
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金								
決定額	△238	△238						0	1,697	
現計額	1,935	438						1,497		

事業内訳書

事業名	企業参入連携促進事業		
単位事業名	企業参入促進事業	予算額	△ 238千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 農業費補助金	△238	—	農地集積・集約化対策事業費補助金 補助率 定額
合計	△238	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△130	—	事例発表企業当日謝金 2法人の減 △100千円 コーディネーター当日謝金 1.5時間分の減 △30千円
旅費	△72	—	事例企業取材調整旅費 12回の減 △72千円
役務費	△36	—	企業参入セミナー開催にかかる郵送料の減 △36千円
合計	△238	—	